



標高の高い上松ですが、日中うだるような暑い日が続いています。
暑さに負けず、訓練に挑む7月の製作風景です。



7月初旬は、四隅の継ぎ方が異なる枡を製作し、板組加工について学びました。
(四つの接ぎ方は、釘打ち三枚組接ぎ、七枚組接ぎ、上端留め形五枚組接ぎ、蟻型七枚組接ぎです。)



7月中旬は「技能検定2級家具製作」の課題に取り組みました。
実際の技能検定は、5時間30分の時間制限があります。
鍛錬が必要です。



訓練生は、並んだ製作物を前に、出来栄を比べて観察合っていました。



そして7月下旬、2科に分かれて機械加工での製作が始まりました。
木工科は、最初にフラッシュ構造の整理棚をグループで製作します。
接着剤のスプレーガン塗布について、道具の使用方法を学んでいるところです。



実践！
スムーズに塗布できていました。



木材造形科は、板差しの整理箱を製作します。
ペアに分かれて図面を引いているところです。



樹種を決めて、木取りを行います。
初めて行う作業、疑問点は指導員に質問しつつ進めますよ。
木工科はグループで、木材造形科はペアで、意思疎通を図りながら、素敵な初めての家具が生まれるといいですね。